

中野駅新北口駅前地区における基盤整備の進捗状況について

中野駅新北口駅前地区で整備するペDESTロリアンデッキ及び駅前広場等の基盤施設については、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」という。）及び囲町東地区市街地再開発組合への委託により、今年度から随時、工事に着手している。

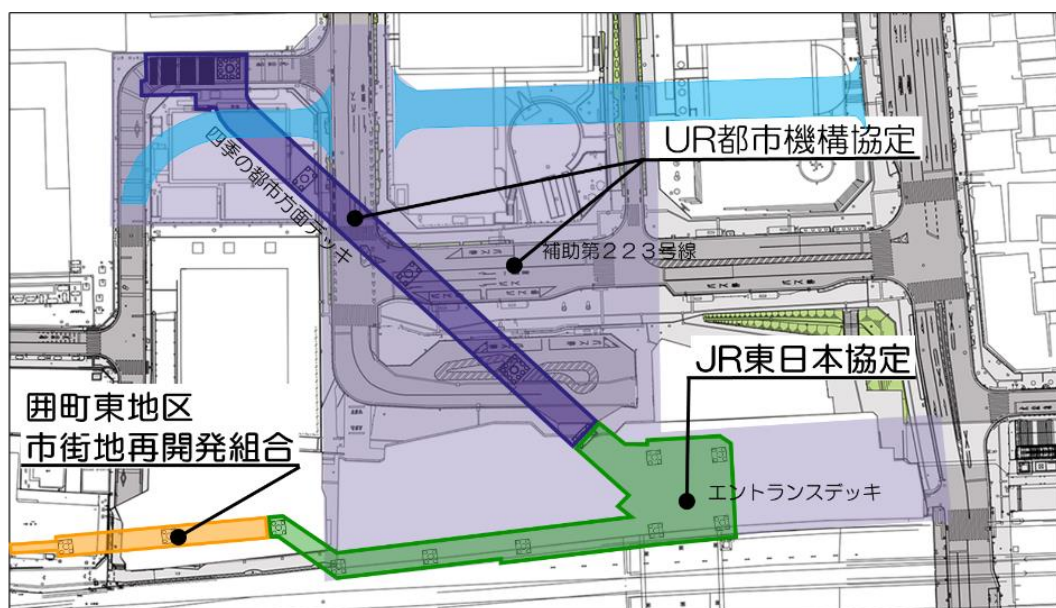
今回、これらの基盤施設の整備に係る進捗状況について以下のとおり報告する。

1. ペDESTロリアンデッキ等の協定事業について

JR東日本との協定事業で工事を施行するペDESTロリアンデッキ（エントランスデッキ等、図中の緑着色部）のうち、桁製作や基礎工事の一部（鋼管杭打設まで）については、先行して7月3日に協定を締結し工事に着手した。なお、後続となる本体工事等については、10月を目途に協定を締結する予定である。本工事の着手に伴い、ペDESTロリアンデッキ等の工事に必要な施工ヤードの確保のため、NTTドコモ中野ビル南側の中野駅北口広場整備事業用地の一部にある自動二輪車駐車場（収容台数：80台）は9月末をもって閉鎖する。

また、四季の都市方面デッキ等の駅前広場の工事は、実施設計に続きUR都市機構へ工事の施行を協定に基づき委託する予定である。このうち四季の都市方面デッキ部（図中の紫着色部）に関する協定については、10月を目途に締結する予定である。

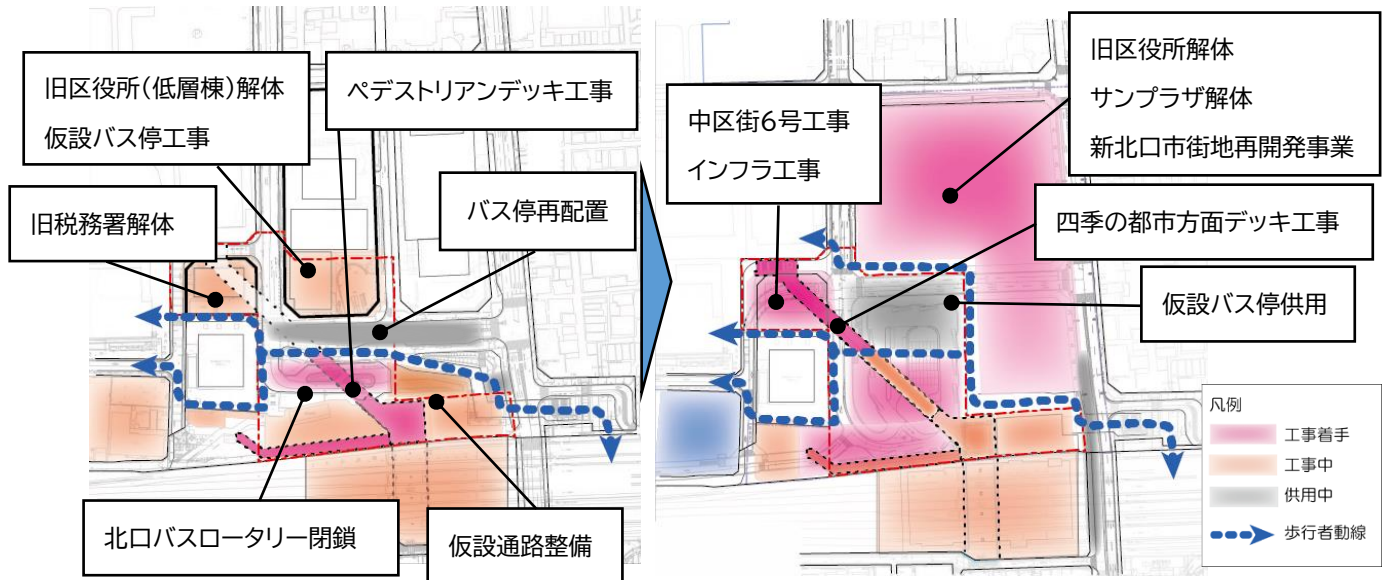
協定事業範囲図



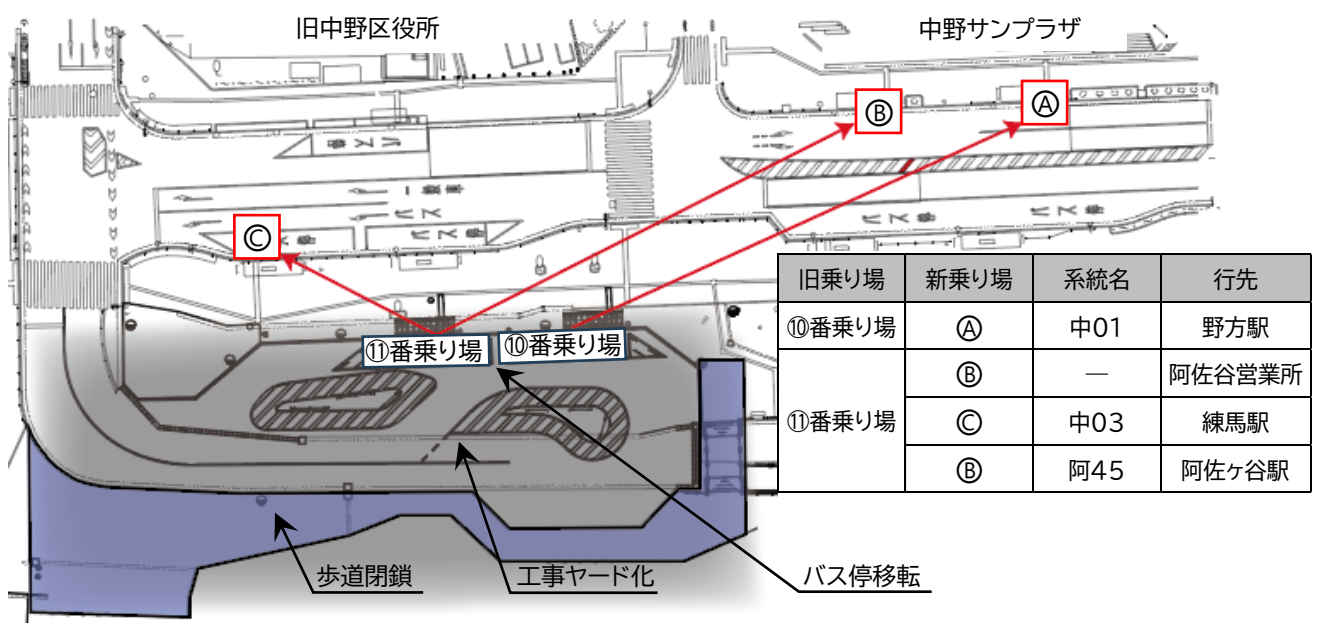
2. 現北口バスロータリー内のバス停の再配置について

上記ペDESTロリアンデッキ整備のうち、仮設バス停と東西連絡路を繋ぐ仮設通路に近接する下部工は、仮設通路整備に先行して整備する必要がある。このため、仮設バス停整備に先立ち、現北口バスロータリー内のバス停（2か所）を旧区役所庁舎前の道路上に再配置する。再配置については、10月より工事に着手し、令和7年1月より下記図「バス再配置案（令和7年1月～）」のとおり乗車場の配置変更を行い、運用を開始する予定である。また、北口バスロータリー南側の歩行者動線も本整備に基づき順次閉鎖を予定している。

施行展開図（令和6～7年度）



バス再配置案（令和7年1月～）



3. 仮設バス停について

旧区役所低層棟跡地における仮設バス停は、令和7年度に運用開始予定である。

旧区役所低層棟の解体は、土地区画整理事業施行者のUR都市機構が、8月より工事に着手し、令和7年2月に完了する予定であり、その後、仮設バス停整備に移行する。

4. 工事中仮囲いを用いたイメージアップ

中野駅周辺の工事のイメージアップやエリアマネジメントに資する工事期間中の賑わい創出の一環として、工事現場の仮囲いの装飾等の活用を予定している。

5. 今後の予定

令和6年度	旧区役所解体、仮設バス停整備工事 旧中野税務署解体、仮設通路整備 ペDESTリアンデッキ工事着手
令和7年度	旧中野税務署跡地インフラ移設工事、仮設バス停運用開始 仮設通路運用開始
令和8年度	中野駅西口改札開業
令和11年度	中野駅新北口交通広場供用開始